

吾妻学園防災手帳



もしもの時に 自分で見ること・まわりの人に見せること

↓やっておこう!カバンに入れる前にチェック!

- 家族との待ち合わせは決めましたか?
- まわりの人に伝えたいことは書きましたか?

↓これもやってみよう!

- 「防災マップ」に家の場所、待ち合わせ場所、通学路を書こう。
- ロケットや公園の目印をぬろう。
- 家族で防災会議を開こう。家の中の安全を確認しよう。
- おぼえておこう!伝言ダイヤル「171」。

年 組 氏名



もしもの時に自分で見ること・まわりの人に見せること



自分で見ること 地震が起きたら・・・ (考えて記入しよう)



1 揺れがおさまるまで



2 避難するとき



3 どうしたらよいかわからないとき



まわりの人に伝えたいこと

私は

してください。

が苦手です。

アレルギーなど

まわりの人に見せること 引き渡しについて

【吾妻小引き渡しカード防災手帳版】

緊急時の引き渡し。()緊急時は、保護者が子どもを迎えに行きます。どちらかに (○)をつけておこう。()緊急時すぐに迎えに行けません。待機させてください。

代理引き取り者(上記にかかわらず、保護者が引き渡しに行けない場合の代理引き取り者)

優先順位	氏名	連絡先	本人との関係	学校に来るまでの経路及び時間
(記入例)	吾妻すみれ	000-0000-0000	同級生の母	勤務先→保育所→学校(35分)
1				
2				
3				

兄弟姉妹	なまえ (通常のお迎え順)		学校(どちらかに○もしくは記入)		なまえ (通常のお迎え順)		学校(どちらかに○もしくは記入)	
	()	()	吾妻小・中学校 () 学校	()	吾妻小・中学校 () 学校	()	()	
	()	()	吾妻小・中学校 () 学校	()	吾妻小・中学校 () 学校	()	()	

家族との待ち合わせ

①学校の行き帰りのときは () ★どちらかに○をつけておこう。

() 家に帰る / 学校に行く ()

②学校にいるときは () 学校に残る () ※お迎えのルールは引き渡し欄を確認

③学校が終わってから

塾や習い事への行き帰りのときは ()

お友達と外で遊んでいるときは ()

ひとりで留守番しているときは ()

() のときは ()

もしも火災が起きたら

「通報」小さな火事でも119番
火事が起こったことを大きな声や非常ベルで隣近所に知らせましょう。
どんな小さな火事でも119番を。

「初期消火」出火後すぐの消火が重要
出火直後で火が小さい場合は、自分で消火が可能な場合もあります。
火元別の対応方法を覚えておきましょう。

「避難」安全避難を優先
初期消火が出来なかった場合や、天井まで火が燃え移った場合は迷わず避難を。その際は、燃えている部屋の窓を開け、空気を遮断します。
ただし無理は厳禁。避難を優先します。

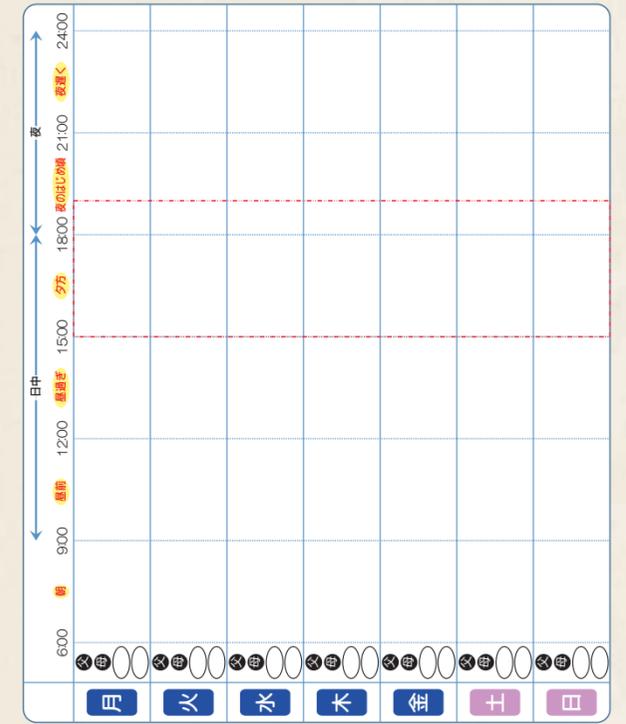
引き渡しの注意!

- 自主的に! 停電・通信インフラのダウンで、学校からの情報発信が不可能になるかもしれません。
- 徒歩で! 駐車スペースに限りがあること、停車で信号が消えている可能性もあり危険です。車は自宅においで徒歩で引渡しに行きましょう。
- 中学校から! 年齢の低い子どもを連れて歩くのは大変です。中学校にきょうだいがいるときは中学校から先に行きましょう!
- 誰も行くことができない場合 保護者・代理人が来るまで学校が預かります。

学校にいるとき → 子どもを学校の引き渡しに
吾妻学園児童引き渡しカードに沿って行われます。児童・生徒の在校中に、大規模地震(概ね200m以内で震度5弱以上)、ゲリラ豪雨、竜巻などの異常気象による重大緊急事態が発生し、大人の引率なしに児童・生徒が帰宅することが困難もしくは危険な状況の際に、実施されます。

その時間、子どもはどこにいますか?

2 子どもに会うこと



行動の変化が多い時間帯を把握 15~19時は要check
今、家族はどこにいるか知っていますか? 災害発生後の家族との連絡やお迎えなどに重要な情報です。下の表に、家族の行動を書いておきましょう。

家族はどこにいますか?

3 家族がどこにいるのか把握しよう

発行: 吾妻小学校 PTA、吾妻中学校 PTA
編集協力: 吾妻学園おやじの会
発行年月日: 平成30年1月
監修: 危機管理アドバイザー 岡崎信江

非常時のための備蓄

- 必需品
 - 携帯型ラジオ
 - 懐中電灯
 - 非常薬・持病の薬
 - 救急セット
 - マスク
- 生活用品
 - 衣類
 - シューズ
 - タオル
 - 洗面用品
 - 洗面剤
 - 歯ブラシ
 - 歯磨き粉
 - 石鹸・歯ブラシ
 - 食品用ラップ
 - お薬手帳
 - 診察券
 - 家族の連絡先など
- 飲料水・非常食
 - 飲料水(1人1日3リットル)
 - 乾パンなど
 - 米糴補助食品
 - 缶詰(缶切り不要のもの)
 - 家族の写真
 - その他
 - 防災ずきん・ヘルメット
 - 筆記用具(油性マジック等)
 - 車手・手袋
 - ロープ(5m)
 - 簡易トイレ
 - 布製粘着テープ

大規模地震の場合、被災者に十分な物資が届くまでには、少なくとも3日程度要します。200m以内で震度5弱以上、ゲリラ豪雨、竜巻などの異常気象による重大緊急事態が発生し、大人の引率なしに児童・生徒が帰宅することが困難もしくは危険な状況の際に、実施されます。

避難所は、被災者に一時的な生活の場を提供するものです。食料だけでなく、衣類、寝具、常備薬、など最低限の生活に必要なものは、自ら考えて準備です。

4 もしものために備えること

今の備えて、十分ですか?

吾妻学園防災手帳



まずは自分の身は自分で守りましょう。
大人も子ども版をよく読みましょう。

記入日 年 月 日

1 情報を集めること

市からの情報
災害発生直後は、気象情報程度しか通信インフラのダウンで学校からの情報発信が不可能になることがあります。早くから半日後まで、直に接学校に行ってみましょう。

学校からの情報
情報はそのうち来ると思っていますか?

2 子どもに会うこと

「子どもに会うこと」
子どもをどこに迎えに行くか、子どもを確認しておきましょう!

「自宅は安全?」
まずは家で過ごすことが安全かどうかを確認しましょう!

「どこで場所を定めること」
徒歩で引渡しに行きましょう。

「7日間家で過ごすこと」
保護者・代理人が来るまで学校が預かります。

「もしものために備えること」
避難所は、被災者に一時的な生活の場を提供するものです。食料だけでなく、衣類、寝具、常備薬、など最低限の生活に必要なものは、自ら考えて準備です。

「情報を集めること」
災害発生!!!

「情報を集めること」
情報収集先を知り、自ら災害の情報を集める準備をしておきましょう!

「災害時のメモ・シート・マップ」
災害発生後を、想像できますか?

「心の準備をしましょう」
災害発生後を、想像できますか?

「引き渡しの注意」
自主的に! 停電・通信インフラのダウンで、学校からの情報発信が不可能になるかもしれません。

「子どもを学校の引き渡しに」
吾妻学園児童引き渡しカードに沿って行われます。児童・生徒の在校中に、大規模地震(概ね200m以内で震度5弱以上)、ゲリラ豪雨、竜巻などの異常気象による重大緊急事態が発生し、大人の引率なしに児童・生徒が帰宅することが困難もしくは危険な状況の際に、実施されます。

「その時間、子どもはどこにいますか?」

2 子どもに会うこと

「家族がどこにいるのか把握しよう」
家族はどこにいますか?

4 もしものために備えること

「今の備えて、十分ですか?」